

運用担当者向け 質問内容変更マニュアル

本マニュアルは、インタビューフローの「質問内容（カテゴリ・文面・ルール）」を運用で変更するための手順をまとめたものです。コードのロジックは触らず、プロンプト（指示文）の編集のみで運用変更できる構成になっています。

変更日: 2025-09-03

1. 対象と前提

- 対象: 業務質問生成AI (business)、感情質問生成AI (emotional)、ネイチャリングAI (導入説明)
 - 変更対象の場所: `main.py` 内のプロンプト定義ブロック
 - `PROMPTS_business_Qgenerator` (業務フェーズの質問)
 - `PROMPTS_emotional_Qgenerator` (感情フェーズの質問)
 - `PROMPTS_manager` (進行管理ポリシー)
 - `PROMPTS_NURTURING` (導入説明/同意取得)
 - 変更反映の前提: 編集後、Chainlit のセッションを再起動（面談を新規開始）してください。
 - 変更反映の前提: 編集後、Chainlit のセッションを再起動（面談を新規開始）してください。
 - 行番号の注意: 本書の行番号は 2025-09-03 時点の `main.py` を基準としています。将来の変更でずれる場合は、末尾の検索アンカー（12章）を使って該当箇所を特定してください。
-

2. 変更できるもの一覧

- 業務フェーズのカテゴリ一覧（順序・追加・削除）
 - 感情フェーズのカテゴリ一覧（順序・追加・削除、文字数制約）
 - 質問スタイルと出カールール（1行出力、先頭に `[カテゴリ名]`、重複回避、深掘り回数）
 - フェーズ完了時の `[完了確認]` 文言
 - 進行管理ポリシー（原則 `next_question`、`deep_dive` は各カテゴリ1回、切替条件 など）
 - 導入説明（ネイチャリング）の本文
 - 会社別の個別トピック（Firestore ドキュメント）
-

3. 実編集手順（業務・感情のカテゴリ）

3.1 業務フェーズのカテゴリを変更

- 該当箇所: `main.py` の `PROMPTS_business_Qgenerator` ブロック (`BEGIN_CATEGORIES` ~ `END_CATEGORIES`)
- 例: `main.py:124` 付近（エディタで `BEGIN_CATEGORIES` を検索してもOK）
- 現行行番号: `main.py:132-142`
- 操作:
 - 追加: `BEGIN_CATEGORIES` と `END_CATEGORIES` の間に1行1カテゴリで追記
 - 削除: 行を削除
 - 並び替え: 行の順序を入れ替え（質問は上から順に未収集カテゴリを収集します）
- 注意:

- 各行は先頭にハイフン+半角スペース（例: `- 使用技術`）
- カテゴリ名は重複させない（重複すると重複回避ロジックに影響）

3.2 感情フェーズのカテゴリを変更

- 該当箇所: `main.py` の `PROMPTS_emotional_Qgenerator` ブロック (`BEGIN_CATEGORIES` ~ `END_CATEGORIES`)
 - 例: `main.py:173` 付近
 - 現行行番号: `main.py:181-187`
 - 操作は 3.1 と同様
 - 文字数制約の変更（デフォルト200文字以内）
 - 3) 質問スタイル の文言を編集（例: `200文字以内` → `150文字以内` など）
 - 現行行番号（感情の「200文字以内」記載）: `main.py:202`
-

4. 出力ルール/完了確認の編集

4.1 出力ルール（厳守事項）

- 場所（業務/感情とも）：
 - 2) 出力形式（厳守） セクション
- 現行行番号:
 - 業務: `main.py:151-154`
 - 感情: `main.py:196-199`
- 原則:
 - 「質問文のみを1行で出力」
 - 先頭に必ず `[カテゴリ名]` を付ける（例: `[直近の実績] ...`）
 - 前置き/要約/装飾/箇条書き/メタ説明は出力しない
- ここを削ると回答が長文化/装飾化し、UIやログ整形が崩れます。変更は最小限にしてください。

4.2 [完了確認] の文言変更

- 場所（業務）: 5) 終了シグナル の行（例: `main.py:163` 付近）
 - 場所（感情）: 同セクション（例: `main.py:209` 付近）
 - 現行行番号:
 - 業務（セクション全体）: `main.py:163-166`（文言は `main.py:165`）
 - 感情（セクション全体）: `main.py:209-211`（文言は `main.py:211`）
 - 変更してよい部分:
 - 日本語の本文（表現の微調整）。ただし先頭の `[完了確認]` タグは必須です。
-

5. 進行管理ポリシー（必要時のみ調整）

- 場所: `main.py` の `PROMPTS_manager`（例: `main.py:94` 付近）
- 現行行番号: `main.py:94-122`
- 現行方針:
 - `next_question` を原則優先（カテゴリの選定は質問生成AIが担当）
 - `deep_dive` は各カテゴリ最大1回（回答が曖昧/不足時）
 - フェーズ完了は `[完了確認]` で合意が得られたら切替/終了

- このポリシーを緩める/強める場合は、ここの文言を編集してください。運用影響が大きいため、改定前後で必ず動作確認を行ってください。

6. 導入説明（ネイチャリング）の編集

- 場所: `main.py` の `PROMPTS_NURTURING` (例: `main.py:235` 付近)
- 現行行番号: `main.py:235-254`
- 説明項目（目的/プライバシー/所要時間/活用/任意性）を自社用に編集可能
- 重要: 出力スキーマは `NurturingResponse` (`explanation, is_ready_to_proceed`) に準拠。本文を変えても、最後に「次フェーズへ進めるか」を必ず返す設計を維持してください。

7. 会社別トピック（Firestore）の設定（任意）

- 面談セッションは会社ごとのトピックを Firestore から読み込み可能です。
- 参照関数 (`main.py`) :
 - `get_business_topic(company_email)` → ドキュメント名: 業務内容トピック、フィールド: 業務内容トピック
 - `get_emotional_topic(company_email)` → ドキュメント名: 感情トピック、フィールド: 感情トピック
- 現行行番号（参照関数） :
 - `get_business_topic`: `main.py:543-550`
 - `get_emotional_topic`: `main.py:552-559`
- 推奨スキーマ（Firebase Console で設定） :
 - コレクション: `<company_email>`
 - ドキュメント: 業務内容トピック にフィールド 業務内容トピック: Array
 - ドキュメント: 感情トピック にフィールド 感情トピック: Array
- 例:
 - 業務内容トピック: ["直近の実績", "人材種別", "アピールポイント"]
 - 感情トピック: ["新しい業務への期待", "理想の働き方"]
- 注意: ここは「カテゴリ定義」ではなく、「運用上のトピックの優先/表示」に活用されます。カテゴリ名と矛盾しないようにしてください。

8. 変更後の動作確認（チェックリスト）

1. 面談を新規開始し、最初の質問に【カテゴリ名】が付くか
2. 2問目以降で同カテゴリの重複質問が出ないか
3. あえて曖昧に答えて `deep_dive` が1回だけ発生するか
4. 全カテゴリを1巡後、【完了確認】の確認質問が出るか
5. 感情フェーズでも同様の動作か（文字数制約が効いているか）
6. Firestore への保存 (`<company_email>/<email>`) で `nurturing` と `interview` が記録されるか（保存処理実装: `main.py:1019-1020`）

9. 運用のコツ / よくある質問

- 出力が長文化/装飾される

- 2) 出力形式（厳守）の文言が弱まっていないか確認。前置き・箇条書き禁止を残す。
- 同じ論点の再質問が出る
 - カテゴリ名の重複/表記ゆれがないか確認。カテゴリの粒度を調整。
- [完了確認] が出ない/進行が意図通りでない
 - PROMPTS_manager の方針文が崩れていないか確認。next_question 優先を維持する。
- 途中でカテゴリ名を変更してよい？
 - 進行中セッションには影響するため、面談の合間（無セッション時）に実施する。
- 日本語/記号の注意
 - [カテゴリ名] の角括弧は半角 [] を推奨。カテゴリ名の前後に余計な空白を入れない。

10. 変更管理（推奨フロー）

- ブランチを切って編集 → 動作確認 → レビュー → main へ反映
- コミット例:
 - fix(prompts): [業務] カテゴリに「使用技術」を追加
 - chore(nurturing): 所要時間の説明を60分→45分に修正

11. 既知の注意事項（技術）

- ログ整形の改行タイプ
 - main.py のインタビュー全文生成で "Q{i+1}: {q}n" という箇所があります。正しくは "\n" です。表示乱れがある場合は修正してください（開発担当に依頼可）。該当行: main.py:565
- 実行結果のアンパック
 - run_ai_with_logging は (result, log) を返します。質問生成側はすでに修正済みですが、将来の変更時は戻り値の取り扱いに注意。定義位置: main.py:384-418

12. 参考（検索アンカー）

- 業務カテゴリ: PROMPTS_business_Qgenerator / BEGIN_CATEGORIES
- 感情カテゴリ: PROMPTS_emotional_Qgenerator / BEGIN_CATEGORIES
- 完了確認: 5) 終了シグナル / [完了確認]
- 進行管理: PROMPTS_manager / next_question / deep_dive
- 導入説明: PROMPTS_NURTURING

以上です。編集後は必ず新規セッションで一通りの流れ（業務→感情→終了）を確認してください。